



議会プログラムはこちら



注目！補正予算 ..... 5 ページ  
～クーポン券支給へ～

6 議員が一般質問 ..... 8 ページ  
～村長の村政自己評価など～

## 謹賀新年

1/7 新春書き初め会



## 会期を348日間に決定!!!



1月招集会議は1月5日に開会され、通年議会の会期を12月18日までの348日間としました。

あけましておめでとうございます

## 新年を迎えて

議長 佐々木 修

新たな一年の幕開けを迎え、新年のお慶びを申し上げます。

村民の皆様には日頃より、議会活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、全国的なクマ被害が深刻化し、本村においても誠に痛ましい死傷事故が発生いたしました。お亡くなりになられた方に謹んで哀悼の意を表しますと共に、被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

大きく変容したクマの行動は、住民生活に不安と影響を及ぼし、安全を脅かす重大な事態となりました。

捕獲・警戒にあたられた関係者の皆様のご尽力のもと、地域一体の取り組みを実施する中、議会としても実効性のある二度の提言を行政へ行いました。

今後も、安全を最優先とする体制の維持が重要となります。

さて本村では、国家事業である成瀬ダムが完成の節目を迎えつつあります。水源であり、ダム所在地の持つ多様な意義を、今改めて意識することが求められており、村や周辺地域に及ぶ、新たな価値を生む存在となる事が期待されます。

また、現在日本では、国土を形成し保全する全国の自治体の半数以上が過疎地域に指定され、さらに増加傾向にあります。今後は人口対策を取りつつも、他の地域、都市部との関係、役割の再評価や地域特性を相互に活かす、人口規模縮小時代が目の前である事を実感します。

私たち議会の活動は、行政との役割の違いから身近とは言えない側面もあり、より伝わる議会を目指し議会改革を推進中であります。昨年は、一般質問を「分かりやすく議論が深まる」方式へ変更し着実に効果が活かされ、さらに、一般質問の録画配信を実施する準備を進めております。また、多岐に渡る効果が実証済のタブレット端末を、議会運営やペーパーレス会議へ向け導入予定です。

今後とも村の暮らしの充実と持続を念頭に、住民の視点に立ち真摯に議論を重ねてまいります。

結びに、村の平穏と皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

## 全議案可決！

12月定例会議は、12月3日から19日までの17日間の審議期間で開催されました。報告1件、人事案1件、条例案7件、予算案7件、議決案1件、契約案1件の合計18件を審議。陳情5件を採択、1件を趣旨採択として、意見書案5件と議員発議1件を含むすべての議案を、原案どおり可決・同意しました。

2日目には一般質問が行われ、6議員が登壇し、村政を質しました。

3日目には村職員による公有物窃取事件調査特別委員会の委員長報告がありました。

### 人事

議会の同意を必要とし、任期満了となる教育委員の人事案件が提出され、賛成多数で同意しました。

#### 教育委員

横尾 美 雪（下田）※再任

（任期）令和8年1月1日から  
令和11年12月31日まで

### 条例

#### ◆制定

○乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

・国の法律の施行に伴い、条例を制定するもの。月一定時間までの利用可能枠の中で就労要件を問わず時間単位で保育園利用ができるようになる。

### 条例

#### ◆改正

○特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

○議会の議員の議員報酬に関する条例の一部改正

・人事院勧告及び秋田県人事委員会勧告に鑑み、村職員の給与等の額、特別職の期末手当の額を改定するもの。

○行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

・基幹系業務システムの平準化に伴い地方公共団体の独自利用事務において条例で規定するため改正するもの。

## 条例

### 改正

- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・保育所等の職員等による虐待に関する通報義務等による虐待対応の強化が図られたため改正するもの。



## 契約

### ○物品供給売買契約

- 1、目的 X線一般撮影装置及びX線読取装置購入
- 2、方法 指名競争入札
- 3、金額 19,470,000円
- 4、相手方 クロスウィルメディカル株式会社 横手営業所
- 5、納期限 令和8年3月19日

## 議決案

### ○秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更等

・男鹿地区消防一部事務組合及び湖東地区行政一部事務組合が令和8年3月31日をもって解散することにより秋田県市町村総合事務組合を脱退すること、男鹿潟上南秋消防組合が秋田県市町村総合事務組合に加入するため規約を変更するもの。

## 専決処分

○ツキノワグマによる人的被害を防止するための対策強化に係る補正予算

- 時間外の箱罾設置、駆除、追い払い等対応……………60万円
- 被害防止のための時間外・休日パトロール……………345万6千円
- 資材（忌避剤、クマスプレー等）の購入……………151万6千円
- 誘引樹木の伐採・処分手数料……………250万円
- 城下公園付近の藪払い……………15万円
- 施設の照明設置……………80万円
- 小中学校に防御用中盾を購入……………44万9千円
- 猟友会に奨励金（駆除1頭当たり2万円を加算し3万円に）……………60万円
- 被害者支援のための見舞金支給……………60万円

クーポン券支給事業等の補正予算を可決！





## 補正予算

○物価高騰に対する重点支援地方交付金に係る補正予算(総額6550万円)

✓ **応援クーポン券事業**

全村民へ、1人当たり2万5千円分のクーポン券を支給。

※村内利用券1万5千円分と  
村内外共通利用券1万円分。



✓ **低所得者世帯の灯油購入費助成事業**

村民税非課税世帯に灯油購入費を補助。県との協調助成で1世帯当たり7千円分の燃油購入券を交付。

✓ **省エネ家電製品購入費助成事業**

省エネ家電等(エアコン、冷蔵庫等)の購入を助成。費用総額の2分の1の「助成で上限は5万円」。

✓ **保育所等物価高騰対策事業**

食材料費の助成。県との協調助成で利用園児1人当たり8700円を助成。

✓ **介護保険施設物価高騰対策事業**

食材料費・光熱水費の助成。県との協調助成で、入所系・通所系、訪問系施設にそれぞれ定員1人当たりの単価で助成。

✓ **物価高騰対策事業継続支援金事業**

影響を受ける村内事業者への支援金法人、個人事業主、認定農業者等への定額助成。また、宿泊施設等への電気料光熱費の補助。

厳しく  
チェック!

議案審議

12月定例会議最終日19日に追加で上程された補正予算に対する主な質疑の内容を要約してお知らせします。

受け入れ側の了解は得ているのか

**質問** こども誰でも通園制度が制定され、多様な働き方に対応できる保育という趣旨での条例制定だと思うが、受け入れ側の了承は得ているのか。

**答弁** 内容等については園に連絡済みだが、制度について詳細が国から示されていないため、この後協議していくことになる。定員まで空きがあれば対応する余裕活用型の支援事業で考えている。

子育て応援手当の基準日は

**質問** 物価高騰の影響を受けた子育て世帯の支援として対象児童1人につき2万円を支給するようだが、基準日以降の転入・転出者についてはどうか。

**答弁** 令和7年9月30日を基準日とし、その後は翌年の3月31日までに出生した児童が対象となるので、転入・転出に関しては、9月30日現在の住所地での取り扱いとなる。

## 職員による公有物窃取事件 調査特別委員会委員長報告

12月定例会議 最終日

本年3月に公表された、元職員による公有物窃取事件は、いまだ全容解明に至っておらず、議会は一貫して警察の調査を含む事実関係の正確な把握を重要視し対応してきた。

議会では、6月定例会議にて「東成瀬村職員による公有物窃取事件調査特別委員会」を設置し、調査特別委員会にて調査活動を実施してきたが、現時点で判明している内容の調査を終えたことに加え、本定例会議開会中に「被害額の確定」の報告があったことを受けて、調査特別委員会としての中間報告を取りまとめる事にした。

今回の事件は、元職員の「法令違反」による不正であるが、未然防止が出来なかった事と共に不正を継続させてしまう多重の要因が、調査による事実関係から明らかになり、詳細は、今後取りまとめる中間報告書に示すこととする。

公務員としての規範意識全般は、個人と同様に行政組織として適切な行政運営と、組織全体が公益の行動をするための、根幹であることを再確認する契機とし、再発防止策の履行と住民の信頼を維持する体制整備を強く求めるものである。

本事案は、いまだ全容解明・解決には至っておらず、今後の警察の調査、損害賠償に関する事項、行政としての再発防止・信頼回復の取り組みなどの状況を、議会としても引き続き注視するとともに、全容解明時の対応についても継続して検討するものである。

以上

緊急追加  
提言書を提出

クマの出没に対する  
対応は十分か…



提言内容は次のとおり。

#### 通報・情報共有体制を強化

- ① 通報・情報共有体制を強化。
- ② 情報の即時共有体制。

#### 通学の安全を恒常的に確保

- ① 小・中学校スクールバス全村対応。
- ② 児童生徒・保護者に対する行政の対応が不均衡とならないよう、体制を整備。
- ③ クマの行動様式変化を踏まえ、一時的な措置にとどまらない安全対策として、恒常的な全村スクールバス運用体制を早急に確立。

#### 猟友会の負担軽減と協力体制への対応を強化

- ① 猟友会の協力に対する対価の支払い。
- ② 猟友会との連携強化、負担軽減策。
- ③ 長期的な視点による「有害鳥獣駆除及び関連対応」の負担軽減・持続性。



令和7年10月24日に村内で発生した重大な人身被害は、住民の日常生活と安全を根底から揺るがす深刻事案であり、実効性のある対策を早急に講じることが不可欠であることから、この状況を踏まえ議会では、10月29日に村長あてにツキノワグマ出没に関する緊急追加提言書を提出した。

# 議会改革

こんなふうに変るんだね！

#### 議会改革とは…

議会の機能を向上させ、村民の意見をより反映し、より透明性のある議会運営を行うための改革です！

#### タブレットの導入へ！

これまで協議を続けてきた「議会改革特別委員会」。タブレットの導入についてその必要性を話し合い、導入することとしました。

タブレットの導入は、議会のデジタル化を図るためには重要であり、ペーパーレス化による経費削減や議会活動の効率化・強化などを目的に導入を進めています。

議会活性化協議会では、関連してタブレットを利用するための「ペーパーレス会議システム」について、2回研修を行っています。システムの導入実績や機能などを確認しました。

タブレット機器に関しては、年度内の導入に向け調整中です。

#### 議会の動画配信も！

議会の動画配信は、議会の情報発信のために必要と判断し、議会として導入することとしました。

議会を広く村民に公開し、より開かれた議会を推進するため、インターネット上で録画配信で公開するものです。

映像配信の内容は、「一般質問」とし、村当局との協議、議会内の制度整備を経て、導入に向け今後も協議を進めて行く予定です。

今後も住民の付託に応え、議会活動の充実を図ると共に、より分かりやすい議会運営を目指し、議会改革の協議を継続する予定です。



# 功績を讃えて

―旭日双光章受章―

秋の叙勲で、元議員である鈴木秋雄氏が、旭日双光章を受章しました。11月5日には、秋田県庁で伝達式が行われました。

長年にわたる地方自治発展への貢献に深く敬意を表し、お祝い申し上げます。



## 村の話題!

ちょっといい

### 緊急通報システムで

### 一人暮らしの不安解消

一人暮らしのお年寄りや障害者にとって、緊急連絡の手段があることは大きな安心につながります。令和7年度から「ふれあい安心電話事業」が、民間警備会社の「緊急通報システム事業」に変わりました。新規利用者の一人、佐々木ユキさん（下田）のお宅を訪問しました。

### 10年ほど前に夫を亡くされ一人暮らしに。

「民生委員さんが来てくれて、こういう補助事業あるよって、教えてもらって取り付けた。」

「たまたまブレーカーが落ちた時もすぐ連絡入ったよ。」

「火災や発作の時に押す「緊急」ボタンと、話を聴いてもらいたい時の「相談」ボタンがあり、枕元などに置く小さな携帯用スイッチもあります。ボタンを押すと警備員がすぐに来てくれます。」

「すっかり触らないように気を付けて歩いている（笑）」



佐々木ユキさん（下田）

「人混みは好きじゃない」と話すユキさん。こたつでテレビを見ながら「息子が時々来てくれて、この冬囲いやってくれた。そろそろ蛍光灯も替えねばなあ」と。



緊急通報機器

固定電話ははずしましたが、携帯電話を持ち、車の運転もできるというお達者なユキさん。まだまだお元気で、この緊急通報機器のお世話になることなく暮らせることを願いながらご自宅を後にしました。

## 村政の自己評価は

村長 50点程度。残った課題は次期に



**質問** 行政報告で備前村長が次期村長選出馬の意向を表明したが、これまでの村政運営についてどのような自己評価をしているのか伺う。

**村長** 公約として掲げたのは「第5次総合計画の推進」「雪対策」「財政健全化」の3項目。県内町村で最下位であった経常収支比率をこの3年間で県内第5位まで回復させるなど財政指標は改善し、基金残高は増加、借金は減少している。その一方で産業振興や情報発信、第三セクターの運営など課題も多く残っている。

自己評価は50点程度。元職員の不祥事や食中毒の発生を踏まえれば0点に近いとも感じている。

(地域) 交通対策や不祥事対応などは一定の筋道をつけるべき必要があるとの意見が多数あり、出馬を決定した。

**質問** 元職員による不祥事は村政への信頼を大きく損ね

た。弁済の状況や対応、再発防止策、信頼回復について改めて説明を。

**村長** 元職員からは返済の一部として500万円を収納した。本人の返済能力から見ても一括返済は難しい状況だが、村としては完済を最優先に求めていく。

再発防止策は調査委員会の報告をもとに実施中で、職員の資質向上や人材育成を通じて、住民の信頼回復に努めていく。

**質問** 除雪オペレーター不足への対策、食肉加工施設の活用策についてはどう考えているか。

また、次期村政の重点課題と取組みの方向性について伺う。

**村長** 除雪の方針を早めに伝えて、委託業者の方々の体制を整え、余裕を持つてのぞみたい。除雪作業員希望の地域におこし協力隊員も出ており、

村で直接雇用もあり得る。

食肉加工施設は、電気料高騰のあおりを受け、業者が手を出しにくい状況。クマを使ったゴミ工処理への道も考慮したい。

次期も「第6次総合計画の推進」「雪対策」「財政健全化」を柱に、特に「産業振興」を重点課題とする。

農業の担い手確保、観光振興、第三セクターの見直し、広域連携による観光推進などを進め、若者が定住できる環境を整えたいと考えている。

また子育て支援についても「将来に希望を持てる政策」を第6次総合計画に反映させる方針だ。



村の未来を担う子どもたちに夢と希望を



さとう かずと  
佐藤 一人 議員



## ハラスメント防止と安心して働ける職場づくりを

村長 働きやすさがサービス向上につながる



**質問** 役場職員の離職状況を

踏まえ、職場環境をどのように認識しているのか。あわせて、過去5年間のハラスメント相談件数やストレスチェックの実施状況、相談件数が0件であっても数字に表れない職員の悩みや小さな変化をどのように把握し、職員が安心して働ける職場環境づくりをどのように進めていくのか。

**村長** 職員の離職は個々の理

由によるものが主であり、ハラスメントを理由とした退職は確認されていない。人事評価制度における面談を活用し

て職員の状況把握に努めるとともに、ストレスチェックを継続して実施している。今後も、日常業務の中で生じる小さな変化や兆しを見逃さず、職員同士で確認し合いながら、安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいく。

**質問** 公有物窃取事件を踏ま

え、相談体制や報告ルートに課題はなかったのか。異変を早期に共有し改善につなげる仕組みや、誰でも相談でき、上司以外や匿名でも利用できる、必ず動く相談窓口の必要性について、村の考えは。

**村長** 報告があつたにもか

かわらず対応がなされず、被害拡大につながった可能性があり、情報共有の機能不全は否めない。今後は報告・連絡・相談を基本とし、管理職が主体的に関与するとともに、公益通報制度の周知を含め、上司以外の相談ルートや特別職への直接報告も活用しながら

ら、相談窓口や報告ルートの整備を検討していく。

**質問** ハラスメント根絶に向

けた村長のトップとしての姿勢と、管理職研修や懲戒基準、仮に信頼してきた職員に行いが認められた場合の判断について伺う。

**村長** ハラスメントは人権に

関わる決して許されない行為であり、組織の信頼や人材を失う重大な問題である。防止指針に基づき、確認された場

合は厳正に対処する。管理職研修は今後も継続し、懲戒基準では免職を含む厳格な対応で防止に取り組む。たとえ信頼してきた職員であっても、行為が認められた場合は厳罰に処する考えである。



## 長期的視点のクマ対応を



### 村長 技術導入と警戒体制の強化を検討

**質問** クマの個体数の把握と駆除の進捗はどうか。村もAIカメラやドローンで個体数を把握し警戒を促すことを検討すべきでは。

**村長** 県の管理計画に基づき対応しており、現在は村独自の管理は行っていないが、技術導入を含め、警戒体制の強化を検討していきたい。

**質問** 学校、役場周辺の安全対策や、耕作放棄地の減少策は。また、藪地の木を減らすなどの実証実験やボランティア活動を進めてはどうか。

**村長** 電気柵のスポット的設置を検討。防災センターや学校玄関に防犯カメラがあり、獣害対策にも活用可能となっている。通学路へのカメラ設置は運用上課題がある。

耕作放棄地対策は自治会との連携強化や基盤整備支援を進めていく。

藪地対策は地域と協力しながら試行的に取り組みたい。

**質問** 猟友会の担い手不足問題や同会への公務保険の適用は。

**村長** ガバメントハンター制度の調査を検討。地域おこし協力隊からの猟友会加入もあった。報奨金や危険手当の増額を含め総合的に支援する。県の公務災害補償制度や各種保険にすでに加入しており、一定の保障体制が整っている。



電気柵 (蛭川清水)

### 部活動の地域移行は

#### 教育長 協議会を設立し検討中

**質問** 中学校の部活動地域移行の進捗状況は。

**教育長** 令和5〜7年度は改革推進期間。村では協議会を設立し、保護者や地域団体と協議を重ねている。湯沢市と握予定。

の合同活動も報告され、次期改革期間には指導者配置や広域連携を検討。保護者アンケートで休日活動への意識を把握予定。

### 体育館の冷房は

#### 教育長 補助制度活用を検討

**質問** 体育館の冷房環境について、高温時の使用制限や冷房計画は。

**教育長** 暑さ指数に基づき活動制限を実施。熱中症警戒アラート時は活動自粛を要請。体育館は避難所でもあり快適性向上が必要だが、工費が高額。照明LED化や修繕と併せて補助制度活用を検討。昨年度は扇風機を設置し、今年度は短期リースによる冷房機器導入も検討中。





さとう 佐藤 ひとし 議員

## 少子化対策の評価は

村長 一定の効果はあった

**質問** 村の過去5年間の出生数は一桁台、低い出生数の要因と移住定住対策や子育て支援等の施策の評価は。

**村長** 若者の流出、未婚化、晩婚化が最大の要因と認識。移住政策は、地域おこし協力隊制度を活用し移住促進を図っている。移住定住者向け住宅整備で利用者11月末62名。入居後の出生数12名と一定の効果があったが出産後転出が3年間で10世帯と定住対策の強化の必要性も感じている。子育て支援策は、子育てに対する世帯へのアンケートが満足度100%になっており、先進的に進めてきたが他自治体施策も参考にしながら進めていく。

**質問** 婚姻数の向上も重要と考えるが、今後婚姻を希望する方の背中を押す施策は。

**村長** 第6次総合計画で出会うの機会創出を明確に掲げ、移住体験や村外県外からの参

加イベントなどを想定している。また、令和版の仲人制度、婚活アドバイザー等多様な取り組みも考えている。



### エアコン未設置世帯へ購入助成を

村長 国事業を活用し全世帯対象に

**質問** 今後も災害級の猛暑により、住宅における熱中症等から村民の命と健康を守るため、エアコン未設置世帯に対するの購入費用の補助についての考えは。

**村長** 今回の国の重点支援地方交付金を活用し、実施する

### 空き家の雪が危険な時は

村長 村が必要最小限対応

**質問** 村内の空き家が9月末で84戸。道路沿いや隣接する空き家の積雪が周囲に危険を及ぼす状況時の対応は。

**村長** 定期的なパトロールや住民からの通報に基づき管理者へ必要な対応と連絡をしている。連絡が取れない場合で

周囲に危険を及ぼす可能性が高い場合は、災害対策の観点から、村が必要最小限の対応をとる。空き家問題には、一定の覚悟を持って解決へ向け対策を講じる必要があると感じている。

方向で考えている。エアコンへの補助として、財源を確保し枠を決め実施したい。対象は、村内の全世帯で税金の未納が無いことが最低条件と考える。熱中症対策としては、来年度骨格予算の政策予算として計上を考えている。





## ふるさと納税の対応は

村長 適切な対応を図っている

**質問** 他の自治体では気象の影響で、農産品などの返礼品でトラブルが発生しているが、そのような事案はないか。

**村長** 返礼品の提供に関する大きなトラブルは発生していない。

昨年度、新米予約及び定期便で数量を確保できない事案があったが追加で返礼品を確保し、該当する寄附者の皆様へ事情を説明し同意の上発送した。

**質問** トラブルが発生した場合、寄附者に対し納得して頂ける対応策を明確に定めているか。

**村長** マニュアル等の明確な対応基準は整備されていないが、村と委託事業者が個別の案件ごとに協議し、適切な対応を図っている。



平良カブ（なるせ加工研究会）

**質問** ふるさと納税の控除額に上限が設けられる。今後は幅広く多数の方に寄附して頂ける要素が重要になる。

特産品や魅力ある村づくりを推進して頂きたいが。

**村長** 特産品はトマトや平良カブも人気がある。こうした特産品の拡大によって、ふるさと納税を政策的に出し、最終的に村の財源に結びつけていく方法が最も理想だと思うので取り組みたい。

## 庁舎破損箇所の修繕は

村長 再度改修を検討

**質問** 庁舎南側3階のベランダの軒裏が破損している。数年前から放置されている理由と修繕の意向を伺う。

**村長** 平成23〜26年度間の豪雪で屋根の除雪が直接の原因か分からないが、議場や村長室まで「<sup>\*</sup>すぐ漏れ」がした。

屋根は直したが、水滴が天井裏に溜り氷になって天井が落ちた。次の年そこをメッシュにしたが結果は同じで最終的には水が溜まらないように水滴が落ちる形で開放している状態が来た。

応急手当的にやって来たが抜本的な解決にはなっていない。再度改修を検討したい。

**質問** 修繕はもうなんだが、見て見ぬふりの体質にならないように対応して頂きたいが。

**村長** 公共施設の管理というのは、常に見ていないといけない。実際壊れているものが何かというところは確かに欠けている認識がある。早々に強化してまいりたい。



役場庁舎南側

※すぐ漏れとは、屋根に積もった雪の融水が軒先で凍り、せき止められた水が屋根の隙間から屋内に漏れる現象



すぎやま  
杉山 彰 議員



## 堰の管理に村がテコ入れを

### 村長 管理しやすい水路を作る

**質問** 高齢者・独居者が約4分の3を占める私の集落では、4キロにも及ぶ水路の維持管理が切実な問題となっているが、これは全村的な課題でもある。草刈りや砂利上げ作業の業者委託、水路の重要箇所にライブカメラの設置等はないか。

**村長** 中山間事業等の交付金を活用し業者委託・カメラ設置は可能であるが、将来を考えれば、「管理しやすい水路を作っていく」方向に進めたい。

**質問** それはどれだけ先の話になるのか。応急的対応の質問をしている。高齢化、中山間制度の要件の厳格化、クマの危険など状況は激変している。堰はインフラだ。その整備に村がテコ入れにのり出す局面ではないか。

**村長** 管理の省力化ができる水路を作らなければ根本改善にならない。その際に部落に一割負担を求めることも今や

不可能と思う。その（完成までの）期間は中山間事業活用などで管理委託もできる。

**質問** ゆくゆくの話ではなく、この冬にちゃんと水が来るかという問題。改善されたものができるまでの経過的な措置は。

**村長** 部落との話し合いで解決すべきと思う。将来どの部落でも（堰の）管理がでなくなるのは予想済みで、その備えが必要だ。



## 自衛隊への名簿提供は

### 村長 長年の慣習で合法的

**質問** 防衛省が自衛官募集の目的で若者の名簿提供を求めており、本村がそれに応じたという。村ではいつから名簿提供がされてきたか。個人情報保護の観点から正しい判断だったか。

**村長** 昭和29年から住民生活課長の判断で提供している。自衛隊法の第97条や施行令に、首長が募集に関する事務を行う旨が定められている。情報提供を希望しないと申請すれば除外措置もとることになっている。

**質問** 自衛隊法は組織法であって自治体への強制力は持たず、「協力要請」と見るのが多くの判例だ。だから数年前は6割以上の自治体で提出しなかった。近年学校教育の場

で「職業体験」として子供を戦車や武器に触れさせる事例もあるが、好ましくないとと思う。教育長の平和教育哲学を聞きたい。

**教育長** 修学旅行で被爆地を訪問するなど平和教育は大事にされている。学習指導要領には歯止め事項もあり、進路選択の幅を広げる意味での自衛隊募集活動がある程度で、そういう（危険な）教育活動はされていない。

**質問** 除外申請しなければプライバシーが保てないというのがおかしい。名簿は閲覧に限り、自衛隊のみ特例とする悪しき慣習はやめるべきでは。

**村長** 長年慣習化してきた事務で、合法的でもあるということなので問題はない。





# 常任委員会活動



## 秋の見聞

### 村内工事状況等視察

11月4日、常任委員会合同で今年度に村が発注した工事状況を視察しました。今回の視察内容については、12月定例会議で両委員長が意見を加えて報告しました。また、小中学校にも施設訪問し、現状を確認しました。

— 小学校施設訪問 —



改修が終わり綺麗なプール

— 中学校施設訪問 —



壁紙の張替えが必要な卓球室

— 田子内旧国道線排水路改修工事 —



老朽化して危険な箇所を改修

— 田子内旧国道線 流雪溝取水施設工事 —



伊達堰から安定水量を確保する

— 八寺線取水施設改修工事 —



大雨のたび土砂が流れ出る沢

— 岩井川旧国道線 道路災害復旧工事 —



通称「がんじゃの坂」豪雨で崩れた場所



✓厳しくチェック!

# 課題解決につながる予算か

令和7年度一般会計補正予算  
(第5号)

ポンプ積載車の燃料費は

**質問** クマ対策でパトリールした分のガソリン代は。

**答弁** 今回の専決処分には計上していないが、既存の消防費で対応している。

資材の納品状況は

**質問** 忌避剤やクマスプレーなどの資材の購入について、品薄との情報もあるが、調達出来ているのか。

**答弁** 全て注文したものは納入されている。



クマ対策資材

電気柵の設置状況は

**質問** 降雪があつたが、蛭川清水に設置した電気柵の現状は。

**答弁** 12月に入ってから降雪があつたので一旦撤去した。雪消えとともにクマシーズンに入ったら設置したい。

ゾーニングの対応は

**質問** 一年中、辺りを見渡せるように敷払いが必要と考えるが。

**答弁** 数年前から県の事業を利用しながらやってきたところ。今回敷払いをした城下に関しては、クマの通り道になっていることがわかっていて、距離が長いので県の協力がないと予算的に難しい。今回は応急的な対応となったが、今後は恒久的な対応も考えていかなければならないと思っている。

有害鳥獣奨励金の増額

**質問** 3万円へ増額しているが、対象となるクマの頭数は何頭か。

**答弁** 今年度のスタートにさかのぼって適用するので、現時点でのクマの駆除頭数26頭が対象となる。この他にイノシシも含まれてくる。

令和7年度一般会計補正予算  
(第6号)

冬期間の二拠点生活の調査

**質問** スノーボーダー向けの二拠点生活の調査に係る委託料とのことだが。

**答弁** 良質な雪質を求めて各地を回っているスノーボーダーがたくさんいるので、そういった方が冬期間に村に住むという二拠点生活が実際に可能かどうかを調査するもの。スキー場での滑走と地域貢献を上手く組み合わせ、長期滞在できるかを意見を聞きながらモニターツアーを行いたい。

**質問** モニターツアーの人数制限や期間は。

**答弁** ウェブサイトを活用して参加者を募る形で、想定としては5〜10人くらいで

考えている。モニターツアーなので、2泊3日や3泊4日などの短期なものになる。



令和7年度国民健康保険特別会計  
補正予算(第2号)

マイナ保険証の紐付け

**質問** 資格確認書用の台紙の購入のための予算と聞いたが、現在、マイナンバーカードとの紐付けは、どの程度の割合か。

**答弁** 8月1日時点で被保険者414人のうち292人がマイナンバーカードと保険証を紐付けされており、率は71%程度となっている。

## 12月定例会議議決事項一覧

専決処分の報告について ※令和7年度一般会計補正予算（第5号）
教育委員会委員の選任について
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について
乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
令和7年度一般会計補正予算（第6号）
令和7年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）
令和7年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第3号）
令和7年度介護保険特別会計補正予算（第2号）
令和7年度簡易水道事業会計補正予算（第1号）
令和7年度下水道事業会計補正予算（第1号）
秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更等について
物品供給売買契約の締結について ※X線一般撮影装置及びX線読取装置購入
令和7年度一般会計補正予算（第7号）
議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について
安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤規制と大幅増員で処遇改善を求める意見書の提出について
ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求める意見書の提出について
介護保険制度の抜本的改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書の提出について
「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書の提出について
インボイス制度の廃止をめざし、事業者負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書の提出について

## 令和7年度一般会計補正予算（第6号）の主なもの

歳入	
○国庫支出金	
自立支援給付費負担金増	180万円
○県支出金	
自立支援給付費負担金増	90万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金増	2600万円
さわやかなるせ仙人の郷基金繰入金減	▲470万円
○村債	
デジタル活用推進事業債	470万円

歳出	
○総務費	
定住促進住宅修繕料追加	150万円
調査等委託料追加（二拠点居住促進）	100万円
○民生費	
自立支援給付費追加	377万円
○農林水産業費	
林業費設計等委託料減	▲167万円
林業費本工事費追加	167万円
○商工費	
観光費修繕料追加（プラン排煙濃度計修繕）	200万円
○消防費	
湯沢雄勝広域市町村圏組合負担金追加	203万円
○教育費	
小中学校 ICT 環境整備事業機器更改業務委託料追加	463万円
修繕料追加（給食センター給湯循環ポンプ設備）	53万円

## 請願・陳情

12月定例会議で6件の陳情が提出され、それぞれの常任委員会に付託。審査の結果、5件を採択とし、要請に基づき意見書を提出することに決定しました。1件については趣旨採択としました。

### 採択とした陳情

- 夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める陳情（陳情者） 秋田県医療労働組合連合会  
執行委員長 奥井 明子
- ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め国に意見書提出を求める陳情（陳情者） 秋田県医療労働組合連合会  
執行委員長 奥井 明子 外1名
- 「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書（陳情者） 秋田県社会保障推進協議会  
会長 佐藤 幸美
- 「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出の陳情（陳情者） 秋田県社会保障推進協議会  
会長 佐藤 幸美
- インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める陳情（陳情者） 秋田県商工団体連合会  
会長 小玉 正憲

### 趣旨採択とした陳情

- 最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出の陳情書（陳情者） 秋田県社会保障推進協議会  
会長 佐藤 幸美

## 傍聴しませんか？



会議はどなたでも傍聴できます。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせ下さい。  
次回定例会は3月上旬開会の予定！

## 令和7年度一般会計補正予算（第7号）の主なもの

歳入	
○国庫支出金	
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金増	6550万円
物価高対応子育て応援手当補助金増	471万円
○県支出金	
介護保険施設等物価高騰対策事業費補助金増	92万円
燃油購入費緊急助成事業補助金増	84万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金増	1300万円

歳出	
○総務費	
電力・ガス・食料品等価格高騰対策費追加	7883万円
○民生費	
児童手当国庫負担金精算返還金	164万円
子育て応援手当追加	460万円



今年度は議長・副議長の  
外4名の議員が参加

県出身国会議員に直接  
要望書を手渡しました！



国会議員・省庁に要望！

村当局と合同で中央要望会を実施し、秋田県選出国会議員や国土交通省、財務省、総務省を訪問し、地方財政の充実強化や成瀬ダム建設事業の促進、特別豪雪地帯の雪対策経費に対する支援に加え、クマをはじめとする有害鳥獣被害防止対策事業に対する支援を要望しました。

11月6・7日  
村・議会合同  
中央要望会

故郷・東成瀬に思い馳せ

4名の議員が出席しました。  
総会終了後の懇親会は懐かしい面々と故郷や首都圏の状況をお互いに語り合いながら交流を深めました。

首都圏  
なるせ会  
11月9日

東京都（浅草ビューホテル）で首都圏なるせ会の定期総会が開催されました。今回の参加者数は87名でした。



行政懇談会  
10月29日

国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所と行政懇談会を開催しました。今年度の事業内容や次年度以降の事業計画などの説明を受けました。  
議員から事前に提出してある質問について回答をもらい、ダム完成後の観光面も含めた整備に関することなどの質問がありました。

成瀬ダム工事状況は？



## クマ対策緊急追加提言書への回答



議会から当局に提出した緊急追加提言書への回答があり、それについて、今現在取り組んでいること、今後取り組んでいくことなどの説明を受けました。

議員からは、長いスパンでクマ対策に取り組んでいく必要があること、スクールバスの対応について等の質問がありました。

11月25日  
議会全員協議会



東成瀬テックソリューションズ株式会社（通称・なるテック）による、議会向けの成果報告会が開催されました。

5月に行われた議会向けの成果報告会から半年経ち、その後の動きなど、なるテックが取り組んでいる事業についての説明があり、質疑応答も行われました。

11月25日  
議会向け報告会

## 第2回なるテック主催議会向け報告会

## 行政視察で来村されました！



荒川区



宮古市



10月8日～11月21日  
行政視察受入



山形市



中城村



相良村

10月8日から11月21日までの間に、当村への行政視察研修を5組受け入れました。教育行政への視察が3組、成瀬ダム工事関連への視察が1組、移住定住（協力隊）関連が1組であり、教育行政視察で訪れた沖縄県中城村議会、東京都荒川区議会、山形市議会は小学校を見学し、成瀬ダム工事関連で訪れた熊本県相良村議会は成瀬ダムを実際に見学。また、移住定住関連で訪れた岩手県宮古市議会は「なるテック」の事務所を見学しました。

質疑応答の時間では、予定時間を大幅に超えるほどの質問が出された場面もあり、熱心に視察されていました。

当村の取り組みが、少しでもお役に立てますことをお祈りします。



## 施設の方向性と、総合計画

秋田栗駒リゾートの経営状況について、説明を受けました。最も経営を圧迫しているホテルブランについて、人員不足、施設の老朽化等課題を抱えており、今後も赤字が続く見込みから、将来的にホテルブランを維持していくことは困難であると整理した上で、今後の方向性を検討したことの説明を受けました。

※5つの検討フロー

- ① 民間事業者の意向を調査し事業の方向性を探る
- ② 既存の大規模改修を行い現状規模、もしくは一部縮小し維持する
- ③ ホテルブランを解体し、更地にダウンサイジングした温浴施設を整備
- ④ ホテルブランを解体し、別の場所に新設
- ⑤ 施設の機能を廃止する

また、全員協議会の中で、第6次総合計画の基本計画について、担当より説明を受けました。総合計画は、村の羅針盤となる大切な計画です。今後、議会と当局との意見交換の場を設け、住民の声を届けていきたいと思います。

12月16日  
議会全員協議会



**突撃**  
いんだびゅう  
12月議会で一般質問を行った議員に聞いてみました！

通告1番 鈴木 実議員

今後も様々な課題にしっかりと向き合っていきたい。

通告2番 佐藤 一人議員

身近な出来事を自分事として捉えて調査し、質問していきたいです。

通告3番 伊勢谷 勝美議員

前例のないクマ対応で右往左往した印象。

通告4番 佐藤 仁議員

これからの人口減少と空き家対策に注視していきたい。

通告5番 高橋 登志明議員

特産品の拡大に思いついた施策を期待したい。

通告6番 杉山 彰議員

憲法や個人情報保護法より自衛隊法を優先とは……

暫時  
さんじ  
休憩  
きゆうけい

▼昨年11月、相棒のドローンを喪失。初雪の後、木の葉も落ちたので熊の出没情報をもとにその付近の山の地形を見るため飛ばしてみた。大きく旋回したとき位置を見失い高度を下げたら突然映像が乱れ回転しながら木の間に落ちる映像が映った。

やっちまったな……

墜落地点は最後の座標を地図上で特定したが救助に行けそうにないので断念。

今はもう雪に埋もれているだろうな。無念。

▼昨年は熊に翻弄<sup>ほんろう</sup>された年だった。命がけで対応にあたった方々には敬意を表します。

▼今年は明るい話題に溢<sup>あふ</sup>れる年になるようお願いしたい。

(副委員長 高橋 登志明)



# 夢に向かって羽ばたけ！ なるせっ子

No.20

高校生にインタビュー！



たかはし りょうと  
高橋 峻登さん(平良)

湯沢翔北高校3年生  
好きなこと・趣味：  
寝ること  
スポーツを観ること

## あなたにとって、東成瀬村といえば？

東成瀬村は自然が豊かで人も優しいので安心して過ごせます。

## 将来、どんな仕事を目指していますか？どんな大人になりたいですか？

将来はIT系の仕事に就職したいと考えています。何事にも挑戦し続ける大人になりたいです。

## 10年後の東成瀬村を想像し、どんな村になっていたら嬉しいですか？

もっと東成瀬村を知ってもらい観光客などが増えて盛んになってほしい。

## 友だち・家族へメッセージを！

家族へ・・・いつもサポートしてくれてありがとう。これからもよろしく！  
友達へ・・・またみんなで楽しく過ごしたい。



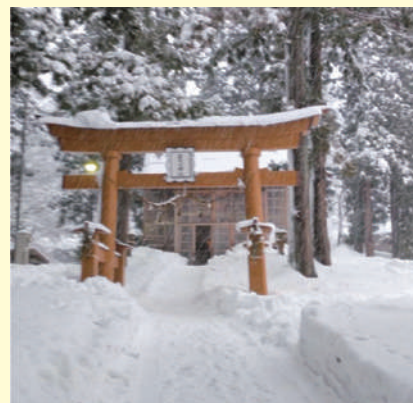
今号の  
ベスト  
shot



11/15 なかよしはっぴようかい

岩井川地区  
すがわら なおよし  
菅原 直盛さん

縁の下のちから  
力持ち



毎日朝早く、散歩と神社参拝が日課。雪が降った日は、後から来る人の為に参道の除雪を丁寧に行ってくれています。地区のまとめ役としても頑張っています。

東成瀬村

議会だより

令和8年1月20日発行

No.224

■発行 東成瀬村議会

■編集 東成瀬村議会広報対策特別委員会

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1

TEL 0182(47)3411 FAX 0182(47)3117 e-mail gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

印刷/株式会社 アイ・クリエイト